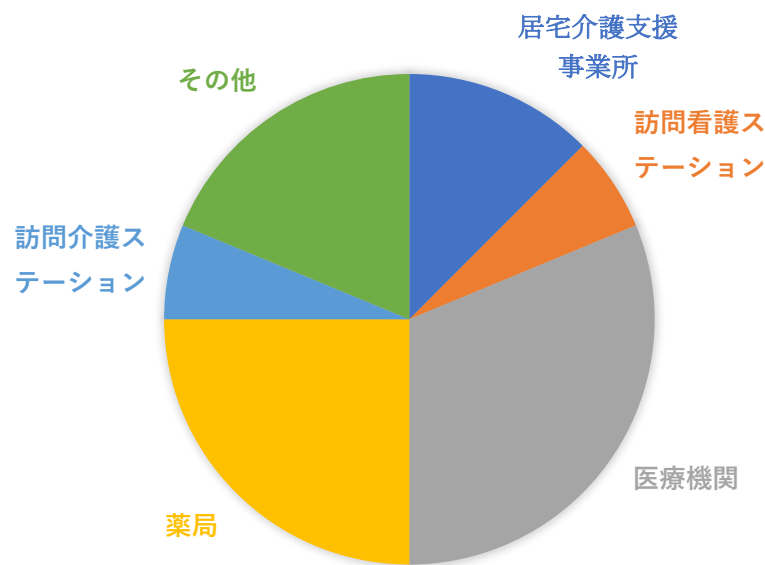


2018.09.07 OMC勉強会アンケート

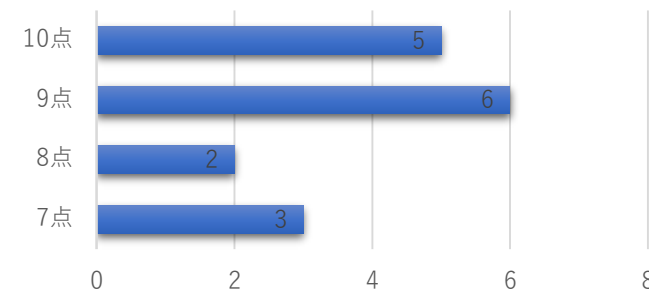
Q1.あなたが所属する施設や機関について教えてください。



Q2・今日の勉強会の感想を率直にお聞かせ下さい。

・企画についてはすべての方が勉強になった、内容についても分かりやすかったとすべての方が回答されています。

10点満点で評価すると



<上記点数の理由や、感想をお聞かせください>

- ・自由発言ができる状況づくりをされていらっしゃる、医療の事も事例を通してわかっていければと思います。
- ・他機関の方の話聞くことができ、職場での一方的な検討ではない話をする事ができた。
- ・在宅療養サイドの意見や困難感を知ることができた。
- ・総括の‘いまを生きる’まさに今日の困難事例で話したことでした。

Q3.本日の勉強会に参加して、どのようなことを学びましたか？

- ・待つという事の意味（用意しながら）
- ・介入が難しい場合、無理に行うのではなく、本人の考え方を理解しながらできることを行っていく。
- ・ACPに向かない人がいることを知った。セーフティーネットが大切。
- ・アプローチ方法について各々の意見を聞かせて頂き、次につながると思います。
- ・私はどちらかといえば消極的な関りが多くなってしまうのでもう少し積極的に関わろうと思いました。
- ・ACPは全員に求めすぎるのもよくないのかもしれないということ。待つ姿勢。
- ・こちらの意見ばかりではなく、裏で準備をして相手がピンチになったら助けるということがこの患者さんには適しているのかもしれないという事を学んだ。

Q4.今後「このようなテーマを取り上げて欲しい」というご要望がございましたらお聞かせ下さい。

- ・Faが精神疾患の方について
- ・在宅導入の困難事例
- ・ACPがうまくいった例、うまくいかなかった例
- ・精神疾患や認知症がありそうだが、本人が受け入れられなさそうな方への介入